

# 地域包括支援センターの状況

(2016年愛知自治体キャラバンまとめ)

※増＝岡崎市7、碧南市1、安城市3、常滑市1、岩倉市1、愛西市1。減＝東浦町3(昨年が広域連合設置数)  
 ※職員配置は全体で82人増だが、減の自治体もある。また、非正規職員を5割以上配置する自治体もある。

市町村名	地域包括支援センター				職員配置人数		
	合計	直営数	委託数	設置圏域の基準	合計	正職員	非正規職員
<b>合計</b>	<b>214</b>	<b>11</b>	<b>203</b>		<b>1,396</b>	<b>947</b>	<b>394</b>
1 名古屋市	29	0	29	各区に1～2カ所	317	142	175
2 豊橋市	18	0	18	概ね中学校区ごと	77	69	8
3 岡崎市	21	0	21	小学校区を単位	76	66	10
4 一宮市	7	0	7	6つの日常生活圏域と中心市街地	51	51	0
5 瀬戸市	7	0	7	第1号被保険者3000～6000人毎	24	21	3
6 半田市	1	0	1	市内で1カ所(5ユニット)	16	10	6
7 春日井市	10	0	10	人口、高齢所人口を基に	55	-	-
8 豊川市	4	0	4	人口、高齢所数、生活のつながりなど	34	24	10
9 津島市	3	0	3	高齢者人口が均等になるよう	13	10	3
10 碧南市	3	1	2	第1号被保険者6000人未満	12	12	0
11 刈谷市	4	0	4	小学校区・中学校区	23	22	1
12 豊田市	25	0	25	中学校区ごと	102	102	0
13 安城市	5	0	5	中学校区ごと	37	25	12
14 西尾市	7	0	7	中学校区ごと	39	32	7
15 蒲郡市	4	0	4	第1号被保険者3000～6000人毎	24	19	5
16 犬山市	1	1	0	市全体を1つの設置圏域	30	5	25
17 常滑市	2	0	2	必要なサービスが完結するよう設定	10	9	1
18 江南市	3	0	3	高齢者人口、地域特性など考慮	16	16	0
19 小牧市	4	0	4	概ね中学校区ごと	26	16	10
20 稲沢市	6	0	6	日常生活圏域	21	20	1
21 新城市	1	0	1	市全域	8	5	3
22 東海市	4	0	4	小学校区の組み合わせを基本	54	44	10
23 大府市	4	0	4	小学校区の組み合わせを基本	54	44	10
24 知多市	1	0	1	小学校区の組み合わせを基本	15	11	4
25 知立市	1	0	1	日常生活圏域	7	3	4
26 尾張旭市	1	0	1	市全域	15	7	8
27 高浜市	1	1	0		13	10	3
28 岩倉市	2	0	2	中学校区ごと	14	7	7
29 豊明市	2	0	2	中学校区ごと	15	9	6
30 日進市	3	0	3	中学校区ごと	15	9	6
31 田原市	3	0	3	中学校区ごと	-	-	-
32 愛西市	3	1	2	日常生活圏域	15	14	1
33 清須市	1	0	1	日常生活圏域	14	7	7
34 北名古屋市	1	1	0	市全域	12	7	5
35 弥富市	1	0	1	日常生活圏域	7	7	0
36 みよし市	1	1	0		10	4	6
37 あま市	1	1	0	第1号被保険者3000～6000人毎	16	10	6
38 長久手市	2	0	2	小学校区ごと	12	8	4
39 東郷町	1	0	1	日常生活圏域	5	2	3
40 豊山町	1	1	0	中学校区	3	2	1
41 大口町	1	0	1	中学校区	7	4	3
42 扶桑町	1	0	1	人口2万～3万人程度で1圏域	7	5	2
43 大治町	1	0	1	日常生活圏域	4	4	0
44 蟹江町	2	0	2	第1号被保険者3000～6000人毎	7	6	1
45 飛島村	1	1	0	日常生活圏域	3	3	0
46 阿久比町	1	1	0	中学校区	4	3	1
47 東浦町	1	0	1	小学校区の組み合わせを基本	11	7	4
48 南知多町	1	1	0	日常生活圏域	9	7	2
49 美浜町	1	0	1	日常生活圏域	4	4	0
50 武豊町	1	0	1	日常生活圏域	15	8	7
51 幸田町	1	0	1	第1号被保険者3000～6000人毎	7	5	2
52 設楽町	1	0	1		5	5	0
53 東栄町	1	0	1	中学校区	4	3	1
54 豊根村	1	0	1	厚労省通知に基づき本村判断	2	2	0